

9/13 大津小で北海道教育大
実習生を受入れ

へき地教育や複式学級の実態を学ぶために、北海道教育大学釧路校の上出愛優奈さんと山畑友乃さんが9月9日から13日までの間、大津小学校で実習として、授業の観察や学習サポート等を行いました。13日は子どもたちと一緒にマラソンの練習や休み時間に遊んで交流していました。

2人は実習を通じて「複式学級での授業やタブレットを活用した授業を見学できてよかった。地域の方にもとてもよくしていただいて、充実した実習になりました」と感想を話していました。

9/11 「旗の波作戦」実行
交通安全を啓発

豊頃町生活安全推進協議会主催の交通安全啓発「旗の波作戦」が実施されました。秋の全国交通安全運動に先駆け、池田警察署の職員のほか、ライオンズクラブやJA豊頃、豊頃町漁協、豊頃町商工会、町内小中学校の児童生徒など約150名が参加し、豊頃中学生会長である原田恵一さんが交通安全宣言を行ったのち、およそ15分間、国道38号線を走行する車両に向けて交通安全を呼びかけました。

9/9 町建協貢献事業で
産業まつり会場整備

社会貢献事業の一環として、豊頃町建設業協会による、とよこ産業まつりの会場整備（道路沿いの草刈りや路肩の清掃など）が行われました。

9/18 「豊頃町×東京学芸大学」連携事業
造形ワークショップ開催

豊頃町と東京学芸大学の連携事業として、造形ワークショップ「空気であそぶ 空気で作る」がこどもプラザとよこ（学童保育所）で行われました。ワークショップは新渡戸文化学園教諭の山内佑輔さんを講師に迎え、傘を入れる袋を空気で膨らませ、子どもの創造性に任せて思い思いの楽しみ方で遊ぶという内容で行われました。子どもたちは膨らませた袋をつなげたり、つるしたり、組み合わせたりと、様々な遊び方で楽しんでいました。山内さんは「皆さんとても自主性にあふれ、アクティブに活動していて、豊頃の子どもたちに好意的な印象を受けました」と話していました。

9/18 豊頃町敬老会で長寿を祝う



第55回豊頃町敬老会がえる夢館はるにれホールで行われました。敬老会では米寿・喜寿・結婚50年を祝う金婚などお祝いの記念品が按田町長から手渡されました。その後、演芸鑑賞として石黒会による津軽三味線の演奏を楽しみました。受賞者代表の榎木敬子さんは「今後の人生においても、生涯現役の気持ちを持ち続け、ふるさと豊頃の発展のために微力ながら協力していきたい」と挨拶しました。また、9月20日には豊頃愛生協会主催の敬老会がとよこ荘とはるにれToyokoroで行われました。とよこ荘の敬老会では、茂岩保育所の年長さんたちによる歌が披露され、皆さんで長寿を祝いました。

健康だより

豊頃町不妊治療費助成事業のお知らせ

豊頃町では、不妊治療を受けている方の経済的負担の軽減を図るため、治療費や通院にかかる交通費の一部助成を実施しています。

令和6年度に限り、令和4・5年に不妊治療を受けた方の助成を実施していますので、対象の方は今年度中（令和7年3月まで）に申請してしてください。

◇ 助成対象の治療等

- ▶一般不妊治療 ▶特定不妊治療（生殖補助医療） ▶先進不妊治療
- ▶その他、不妊治療に付属する検査及び医薬品代

◇ 申請方法

申請に必要な書類をご準備のうえ、役場福祉課健康係に提出してください。

申請様式は役場福祉課窓口に備え付けのほか、豊頃町ホームページからもダウンロードできます。

詳細については、町ホームページをご覧ください。

問い合わせ先 役場福祉課健康係 ☎ (574) 2214

8/30 紙芝居舞台が
寄贈されました

松原勝行さん（茂岩末広）から紙芝居舞台が町図書館とこどもプラザとよこに寄贈されました。紙芝居舞台は松原さんの手作り、通常サイズと大きいサイズの紙芝居どちらも利用できるように作られています。松原さんは「子どもの頃、自転車に紙芝居を積んだ紙芝居屋から紙芝居を聞いていた記憶があり、今の子どもたちは何をしているだろう?」と思いながら寄贈した。子どもたちが喜んでくれたら嬉しい」と話していました。

8/29 豊頃小・中学校合同
避難訓練を実施

豊頃小学校と豊頃中学校で、併設校舎になって初めての合同避難訓練が行われました。昼休みの時間に地震が発生し、調理室で火災が発生した想定で訓練が行われました。子どもたちは消防士が見守る中、煙が充満した教室を移動する体験を行い、煙による視界の悪さや息苦しさを学びました。

また9月2日には「防災の日」にあわせて豊頃町内小中学校で防災給食が提供され、子どもたちの防災意識が高まりました。

8/26 大津小学校で
マツカワを放流

大津小学校でマツカワ放流体験学習が行われました。マツカワの漁獲量を増やすために、大津漁協で育てた300匹のマツカワに子どもたちの手で標識（タグ）をつける体験を行い、自分たちで大津の海に放流しました。子どもたちは「放流するのが楽しかった」、「漁港によって標識の色や標識を付ける場所が違うことが分かった」など感想を話しました。